

銀行名	東邦銀行
タイトル	まち・ひと・しごと創生「地方版総合戦略」の策定・推進支援
取組み内容	1. 地方創生プロジェクト (1) 活動状況 ①営業店・本部メンバー・グループ企業一体となり全自治体の総合戦略に対し、主体的に関与。 ②各自治体の特色や強みを活用した総合戦略策定に向け「オリジナル提案書」を策定、訪問提案。 (2) 成果 ①当行提案のサポートメニューが各自治体の総合戦略に直接・間接的に反映。 A. クラウドファンディング活用に係る事業者負担金への助成制度創設（福島県）。 B. 若者ニーズに応じた婚活支援（相馬市等）・「特定創業支援事業」への取組み（小野町）等 (3) 各自治体に係る「地方版総合戦略一覧表」および「重点連携項目一覧表」の制定 ①「地方版総合戦略一覧表」 各自治体が策定した「地方版総合戦略」の具体的施策、K P I 設定に対する当行のサポートメニューを集約した「地方版総合戦略一覧表」を策定。 ②「重点連携項目一覧表」 地方版総合戦略の各施策において、特に当行と自治体が連携を強化する項目を決定。 (4) その他 ①観光地域づくり推進のため、県内全 59 市町村と連携し「一市一町一村わがまちの逸品」を発刊。 ②「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」を創設（H28.4）、幅広い資金ニーズをサポート。 ③「ふるさと応援 在京経済人の集い」の開催により、経済人と自治体の人材マッチングを実施。 ④ふくしま P P P / P F I 研究会を開催。自治体・民間業者の意見交換の場を提供し、推進支援。 ⑤年 1 回開催していた「地方創生セミナー」を、本年より年 2 回とし、自治体取引強化を推進。 (5) 今後の対応 ①各自治体が策定した総合戦略の具体的施策・K P I 数値・当行のサポートメニューを一元管理。 ②K P I 目標達成に向け、当行グループ企業一体となりサポート継続。 2. 自治体との包括連携協定について (1) 締結自治体 ①平成 27 下期は新たに檜葉町ほか 5 自治体と締結、締結済自治体は合計 23 自治体。 ②今後も協定締結を進めると共に、具体的連携施策を実行していく。

銀行名	東邦銀行										
タイトル	東日本大震災からの復興に向けた取組み										
取組み内容	1. 移動店舗車「とうほう・みんなの移動店舗」による営業 (1) 原発事故の影響により、避難を余儀なくされているお客さまへの金融サービス提供のため、移動店舗車「とうほう・みんなの移動店舗」の営業を平成27年4月に開始 (2) A T Mに加え銀行窓口機能を備えており、口座開設や公共料金支払など幅広いお取引が可能 (3) 営業開始当初はいわきニュータウンセンタービル、楡葉町役場を巡回 (4) 当行楡葉支店の営業再開に伴い、平成28年5月から「富岡町複合商業施設予定地（旧T o m-とむ）」「小高区役所前」で新たに営業開始 (5) 現在の営業ポイント <table border="1"> <tr> <td>月</td><td>いわきニュータウンセンタービル駐車場</td></tr> <tr> <td>火</td><td>富岡町複合商業施設予定地（旧T o m-とむ）</td></tr> <tr> <td>水</td><td>—</td></tr> <tr> <td>木</td><td>富岡町複合商業施設予定地（旧T o m-とむ）</td></tr> <tr> <td>金</td><td>小高区役所前</td></tr> </table> 2. 小高支店のA T M営業再開 (1) 震災以降休業を余儀なくされている小高支店のA T M営業を平成27年11月に再開 (2) 現在、店舗の営業再開に向け取組み中 3. 楡葉支店の営業再開 (1) 楡葉町の避難指示解除以降、住民の方々の帰還が進んでいることを踏まえ、幅広い金融サービスの提供によるさらなる地域復興への後押しを行うため、平成28年4月21日に楡葉支店の営業を再開 (2) 新たにコンサルティングブースを設置するなど、ロビー等の全面リニューアルを実施 4. 米沢支店の開設 (1) 震災により米沢市への避難を余儀なくされているお客さまへの支援のため、平成28年4月27日に県外支店で10店舗目となる米沢支店を開設 (2) 平成30年には東北中央自動車道の開通が予定されており、福島県と山形県の経済交流の活発化を見込む	月	いわきニュータウンセンタービル駐車場	火	富岡町複合商業施設予定地（旧T o m-とむ）	水	—	木	富岡町複合商業施設予定地（旧T o m-とむ）	金	小高区役所前
月	いわきニュータウンセンタービル駐車場										
火	富岡町複合商業施設予定地（旧T o m-とむ）										
水	—										
木	富岡町複合商業施設予定地（旧T o m-とむ）										
金	小高区役所前										

銀行名	東邦銀行
タイトル	創業・事業開拓支援への取組み
取組み内容	1. 「とうほう・次世代創業支援ファンド」、「とうほう・次世代創業支援ローン」 (1) 創業・第二創業やベンチャー、成長分野関連等に取り組むお客さまへの支援を目的に、当行独自のファンドとして平成 25 年 8 月に創設し、平成 28 年 3 月にクローズ。 「創業支援ファンド」：出資総額 10 億円（当行出資額 9.9 億円） 「創業支援ローン」：融資枠 200 億円 (2) 【実績】「ファンド」平成 27 年度：5 先／215 百万円、累計：14 先／685 百万円 「ローン」平成 27 年度：1 先／300 百万円、累計：11 先／964 百万円 3. 「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」 (1) 平成 28 年 4 月 1 日に、後継ファンドとして 10 億円にて組成。10 億円の大部分（99%）を当行が出資。 (2) 子会社である東邦リース㈱がファンド運営に加わり、銀行グループでファンド運営のスキル・ノウハウを蓄積。 (3) 【実績】2 先／60 百万円 2. 「ふくしま復興・成長支援ファンド」 (1) 東日本大震災からの復興・成長に向けて新たな事業展開等に取り組むお客さまへの支援を目的に、REVIC 及び DBJ と共同出資により平成 26 年 12 月に創設。 (2) 【実績】累計：1 先／350 百万円 3. 「クラウドファンディング」 (1) お客さまの新たな資金調達ニーズや風評被害の払拭等への対応として、平成 26 年 8 月にミュージックセキュリティーズ㈱と業務提携し、「投資型クラウドファンディング」紹介業務の取扱いを開始。 (2) 【実績】累計：7 件／36.7 百万円 4. 「とうほう“起業家応援”相談会」 (1) 起業や新事業参入を目指すお客さまを長期的に支援することを目的に、福島県よろず支援拠点や福島県中小企業診断協会等と連携し、毎月 1 回開催。 (2) 【実績】16 回開催、のべ参加者数 54 組 5. 「とうほう次世代経営塾」 (1) 次世代経営者（後継者）の育成支援や人脈構築の場の提供を目的に平成 25 年から開講。平成 27 年で 3 期目となり、事業戦略を中心に年 8 回の実践講座を実施。 (2) 【実績】参加塾生数 平成 27 年度：24 名（内、女性 2 名）、累計：83 名（内、女性 11 名） 6. 「ふくしまベンチャーアワード」への共催・協賛 (1) 福島県産業創出課と連携し、県内起業家の優れたビジネスプランを表彰。当行が賞金総額 160 万円を提供した他、次世代経営塾へ無料招待。 (2) 【実績】応募総数：32 件 最優秀賞 1 名 100 万円、優秀賞 1 名 20 万円 特別賞 2 名 20 万円

銀行名	東邦銀行
タイトル	観光振興に向けた取組み
取組み内容	「ふくしまアフターデスティネーションキャンペーン（アフターDC）」連動事業の実施 アフターDC期間 平成28年4月1日～6月30日 (1) 第3回「ふるさと応援！ ふくしま酒まつり」 目 的：全国新酒鑑評会金賞受賞数3年連続日本一を誇る地酒のPR 実施期間：平成28年4月21日～4月23日 場 所：丸ビル（東京都千代田区丸の内） 主 催：当 行 後 援：福島県酒造協同組合、福島県、復興庁 協 力：三菱地所株式会社 内 容：カフェでの地酒と県産食品の提供 県産品の販売 （出展者／5団体） 県内8地域の名水の配布（ペットボトル 約4,000本） 観光PR （観光パンフレットの配布、観光映像の放映） (2) 東日本旅客鉄道(株)グループ 日本ホテル(株)系列ホテルで実施された「福島フェア」への協賛 名 称：産地と技の饗宴「福島フェア」 実施期間：平成28年4月1日～5月31日 場 所：日本ホテル(株)系列ホテル2ホテル ホテルメトロポリタン （東京都豊島区西池袋） ホテルメトロポリタン高崎（群馬県高崎市） 内 容：福島県産食材を利用したメニューの提供 当行は、協賛機関として参画した他、食材の生産者を紹介

銀行名	東邦銀行																								
タイトル	ビジネスマッチング等による販路拡大・販売促進支援																								
取組み内容	1. 第2回「ふるさと支援 在京福島県経済人の集い」の開催 (1) 東京都の帝国ホテルにおいて、首都圏で活躍する福島県出身の経済人と福島県知事や県内の市町村長、商工会議所会頭が当行役職員とともに一堂に会する機会の提供を目的に「ふるさと支援 在京福島県経済人の集い」を開催（昨年度に引き続き2回目で、規模を拡大して開催）。 (2) 本イベントの開催により、今後の福島県の産業振興や地域活性化に向けたネットワークを構築するとともに、首都圏で活躍する福島県出身経済人と地元自治体との接点をつくり、「人材のマッチング」を通じ、工場立地や新たな活力の創出を目指す。 <table><tr><th>出席者</th><th>今回</th><th>前回</th><th>前回比</th></tr><tr><td>本県にゆかりのある経済人</td><td>119名</td><td>99名</td><td>+20名</td></tr><tr><td>福島県知事、県内の市町村長</td><td>63名</td><td>52名</td><td>+11名</td></tr><tr><td>県内の商工会議所会頭</td><td>9名</td><td>9名</td><td>－</td></tr><tr><td>当行役職員</td><td>48名</td><td>28名</td><td>+20名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>239名</td><td>188名</td><td>+51名</td></tr></table> 2. ビジネスマッチングの取組みの推進 27年度通期 情報提供件数126件 成約実績 136件（うち、商談会の当日成約件数 95件） 3. 通販事業を通じた県産品の風評被害払拭および販売支援 【累計販売実績】141千個、512百万円（下記2種のカatalog販売合計） ・当行協賛・協力 震災復興支援通販（平成23年5月～） ふくしま市場 うつくしま良品本舗 ・当行企画 地方創生通販（平成28年2月～） 一市一町一村わがまちの逸品 4. 食の商談会の開催 (1) 第9回「ふくしまから はじめよう。食の商談会 ふくしまフードフェア2015」 主 催：当行、福島県、JA全農福島、農林中央金庫福島支店 日 程：平成27年11月19日 場 所：ビッグパレットふくしま（郡山市） 内 容：ブース展示、個別商談会 出展者数：173社（事前設定個別商談件数：324件） (2) 「地方銀行フードセレクション2015」 主 催：地方銀行フードセレクション実行委員会（当行含む全国の地方銀行） 日 程：平成27年11月12日～13日 場 所：東京ビッグサイト（東京都江東区） 内 容：ブース展示 出展者数： 20社（事前設定個別商談件数：8件）	出席者	今回	前回	前回比	本県にゆかりのある経済人	119名	99名	+20名	福島県知事、県内の市町村長	63名	52名	+11名	県内の商工会議所会頭	9名	9名	－	当行役職員	48名	28名	+20名	合 計	239名	188名	+51名
出席者	今回	前回	前回比																						
本県にゆかりのある経済人	119名	99名	+20名																						
福島県知事、県内の市町村長	63名	52名	+11名																						
県内の商工会議所会頭	9名	9名	－																						
当行役職員	48名	28名	+20名																						
合 計	239名	188名	+51名																						

銀行名	東邦銀行
タイトル	卓上型対話支援システム「COMUOON（コミュニケーション）」の設置
取組み内容	（１）窓口にご来店いただくお客さまに、より安心してご利用いただけるよう、窓口担当者の声をより明瞭にして、お客さまの聴こえを向上する卓上型対話支援システム「COMUOON（コミュニケーション）」を設置 （２）本システムの全店設置は東北の地方銀行で初めての取組み （３）平成２８年の１０月までに全営業店（インターネット支店を除く）に設置予定

銀行名	東邦銀行
タイトル	海外発行カード対応ＡＴＭの設置
取組み内容	（１）多くの外国人旅行者が訪れる福島県において、海外で発行されたクレジットカードやキャッシュカードで日本円を引き出したいという外国人のニーズに応えるべく、セブン銀行と共同で福島空港へ海外発行カード対応ＡＴＭを設置 （２）海外発行カード対応ＡＴＭの設置は東北の地方銀行で初めての取組み （３）本取組を通じて福島県をはじめ、東北の観光誘客支援につなげていく